

集团的自衛権を考える

—行使したら、どう変わる日本?—

安倍政権は憲法が制約する「集团的自衛権行使」を国会や国民投票による改正手続きを踏まずに官邸の解釈だけで道を開こうとしています。米軍とともに米軍の先兵となって世界のどこにでも自衛隊が派遣され、武器を使用することになります。平和憲法のもとにあった日本が大きく変質します。いま周辺地域や世界各地で紛争の火種が増えています。日本の安全保障、自衛隊、テロの脅威、軍事費増大など具体的に、防衛の実務にトップとして携わってこられた柳澤協二氏からお話を伺います。

- 開催日時 2014年 7月13日(日) 14:00~16:00 (受付開始13:30~)
- 講師 柳澤 協二 氏
- 開催場所 青葉区区民活動センター(田奈ステーション) 第5会議室
[最寄り駅] 東急田園都市線「田奈駅」隣接
- 資料代 300 円
- 主催 ビジョン21 <http://www.yasudasetuko.com/vision21/>
- 連絡先 [電話] 045-962-4958
[メール] info@vision21.info
- 申し込み [インターネットから] <http://goo.gl/FsQhy3>
(定員50名) [FAX から] 045-962-4958



■柳澤 協二 氏 (やなぎさわ きょうじ)

1970年東京大学法学部卒とともに防衛庁入庁、防衛庁運用局長、防衛庁人事教育局長、官房長、防衛研究所所長、内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)などを歴任。2004年から2009年まで、小泉・安倍・福田・麻生政権のもとで内閣官房副長官補として安全保障政策と危機管理を担当。

現在、NPO法人国際地政学研究所理事長、新外交イニシアティブ理事、自衛隊を活かす:21世紀の憲法と防衛を考える会代表。テレビ、新聞等による取材多数。